


暦日 病日	入院	手術前	手術後	1日目	2日目
治療・処置		午前中に点滴をします。 	点滴は翌日まで続けます。 抗菌剤の点滴を行います。 尿を出す管、創の出血を除く管を手術室で入れてきます。 足にフットポンプをつけます 酸素吸入は麻酔科医師の指示で行ないます。	抗菌剤の点滴は朝・夕行います。 フットポンプは足の動きを確認してから外します。	回診時、創の消毒をします。 創の中に入っている管を抜く予定です。(2~3日目) 尿器が使用可能であれば、尿管を抜くことができます。
一般検査				血液検査をします。	
観察	体温・脈拍・血圧を測定し、症状をお聞きします		痛み・しびれ・手足の動き・出血・息苦しさはないかなど観察をします。		
栄養	普通食です。必要時治療食になります。 麻酔科の指示で水分や食事の摂れる時間が決まります。 禁飲食の時間を説明します。	食事は摂れません。 水分は指示の時間まで飲みます 		気分不快がなく、お腹の動きを確認後に水分・食事が摂れます	普通食です。希望に応じておにぎり食にできます。 必要時、治療食になります。
活動	制限はありません。	点滴後、ベッド上安静です。 トイレは歩行できます。	ベッド上安静です。 看護師の介助で身体の向きを変えることができます。 	看護師介助で体の向きを変えることができます。 ベッドを15度まで上げることができます。	ベッドを30度まで上げることができます。 管を抜いた後、頸椎カラーを着けます。 頸椎カラー装着後は自分で体の向きを変えることができます
清潔	手術の前日または当日にシャワー浴を行い皮膚を清潔にします。			体を拭いて着替えます。	
説明・指導	入院生活について説明します。 手術について主治医が説明します。 薬剤師が内服確認・指導をします。 手術室看護師が説明をします。	麻酔科医師の指示で内服する薬がある場合は、少量の水で飲みます。 	主治医から手術後の結果について説明があります。 頸部の安静を保つため、枕で頭を固定します。		ベッド上でのリハビリの説明をします。
確認事項 その他	入院前の生活についてお尋ねします。 手術に必要な物品を確認します。 医師の説明後、同意書に署名していただきます。				

*状況に応じて予定が変更になる場合もありますので、ご不明な点がございましたらお尋ね下さい

頸椎前方固定術を受けられる患者様へ(No.2)

暦日 病日	3日目	4~6日目	7日目	8~14日目	15~20日目
治療・処置	<p>回診時、創の観察をします。創の中に入っている管を抜く予定です。(2~3日目)尿器が使用可能であれば、尿の管を抜くことができます。</p> 			<p>10日目 回診時、糸を抜きます。</p> 	
一般検査			血液検査をします。		
観察	全身状態の観察を行います。				
栄養	普通食です。必要時治療食になります。				
活動	ベッドを45度まで上げることができます。頸椎カラーを着用して、体の向きを変えることができます。	<p>ベッドを60度まで上げることができます。</p> 	<p>ベッドを90度まで上げることができます。車椅子に乗ることができます。</p>	<p>気分不快、ふらつきがなければ歩行器を使用し歩行できます。歩行が安定すれば、一人で歩くことができます。</p> 	
清潔	体を拭いて着替えます。		医師の指示でシャワー浴ができます。		
説明・指導	ベッド上で行うリハビリの説明をします。		<p>起き上がり方の説明します。シャワー浴の仕方について説明します。</p>	<p>歩行器の使用方法について説明します。</p>	<p>頸椎カラーの着け方を説明します。ご自宅での生活について説明します。</p>
確認事項 その他					

* 状況に応じて予定が変更になる場合がありますので、ご不明な点がございましたらお尋ね下さい。

様

21日目(退院)

退院です。



薬剤師が内服指導をします

診察券を受け取り再診日を確認してからお帰り下さい。

